

教えてマッタマン!

～第17回 ごみ減量20% 大金星プロジェクト～

問合先 環境課ごみ減量推進係 ☎0562-92-1113



太郎君：マッタマン、豊明市のごみを減らすための計画ができたんだよね？

マッタマン：よく知っているね、太郎君。平成31年3月に、「豊明市家庭系ごみ減量化実施計画」が策定されました。

太郎君：計画では目標を定めているんだよね？

マッタマン：この計画では、平成31（2019）年度～令和4年度までの4年間で、家庭から出る可燃ごみの量を20%削減することを目標としているよ！

太郎君：具体的にどうすればごみは減らせるの？

マッタマン：可燃ごみの中には、雑誌や雑紙、新聞紙などのリサイクルできる資源や、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスが20%以上も含まれているから、資源をきちんと分別することや、食品ロスが出ないようにしていくことが大切だよ。

太郎君：普段からごみの減量について意識することが大切なんだね！



可燃ごみの中の、分別できる資源や食品ロスをなくせば、ごみの量は確実に減ります。

豊明市家庭系ごみ減量化実施計画を策定しました

目標 家庭系可燃ごみ排出量の20%削減（平成29年度比較）
期間 平成31（2019）年度～令和4年度

（各年度における削減目標）

| 年度 | 家庭系可燃ごみの減量率 | |
|--------------|-------------|--------------|
| 平成31(2019)年度 | 5% | |
| 令和2年度 | 10% | 中間目標の達成状況を判断 |
| 令和3年度 | 15% | |
| 令和4年度 | 20% | 最終目標の達成状況を判断 |

※令和2年度の中間目標が達成できない場合および令和4年度の最終的な減量化目標が達成できない場合には、可燃ごみにおけるごみ処理手数料の有料化を検討します。

マッタマン：もう1つ、豊明市災害廃棄物処理計画ができました。地震や水害などの大規模災害によって出るごみ、「災害廃棄物」を処理するための計画です。

太郎君：南海トラフ地震とか、いつ起きるか分からないもんね……。簡単に説明して欲しいな。

マッタマン：災害時のごみ出しで特に大切なことは、普段から出るような生活ごみは、いつもどおりのごみ置場に出せるけど、がれきや災害によって出た大きなごみなどは、災害ごとに設置される仮置場へ持ち込むってことだよ。

●平常時と災害時のごみ出し方法の違い

| | 平常時 | 災害時 |
|-------------------|-----------------------------------|--------------------|
| 生活ごみ | 町内会ごとに指定されたごみ置場に出す | 原則、平常時と同じ |
| 粗大ごみ（災害廃棄物）、がれきなど | | 災害ごとに設置される仮置場へ持ち込む |
| 粗大ごみ（災害廃棄物以外） | 粗大ごみ処理券を用いた回収または東部知多クリーンセンターへ持ち込む | 原則、平常時と同じ（※） |

※基本的には平常時と同じですが、状況によって収集を見送る場合があります。

太郎君：なんでもかんでも地域のごみ置場に出しちゃうと、街中がごみだらけになっちゃうもんね。災害時は、分別だけじゃなくてごみの出し方にも注意しなくちゃいけないね！



マッタマンからのお知らせ

5月は「とよあけクリーン月間」です

実施期間 毎年5月1日～31日

内容 「ポイ捨てごみのないきれいなまち」を目指し、環境美化意識を高めることを目的とした、「地域主体」の清掃活動。

※環境課でも、地域の清掃活動などをサポートするため、ごみ袋の提供や、集めたごみの回収を行います。また、不法投棄監視パトロールの強化やクリーン月間を広めるための啓発活動も行います。



一緒に、きれいな街を目指しましょう！